



9月12日 百歳高齢者表彰を受ける山村永子さん

緑の園  10月号
ヒルトップハイツ
グリーンプラザ 
デイサービスセンター
だより

第100号
 令和6年10月1日発行



フィンガー5/学園天国(1974)



**「敬老の日」おめでとう
 ございます。**



先月の16日は「敬老の日」でした。

厚生労働省の発表では今年(今年度中)百歳を迎えられる方々は全国で47,888人おられるそうです。(9/1現在)

昭和38年(1963年)に百歳以上の高齢者に初めて

贈呈して以来、毎年老人の日の記念行事として百歳を迎える高齢者に内閣総理大臣からお祝い状と記念品を贈呈されています。

これは、百歳を迎える高齢者の長寿を祝い、多年にわたり社会の発展に寄与してきたことに感謝するとともに、広く国民が高齢者福祉についての関心と理解を深めることを目的としています。

その対象となる高齢者は、今年度中に百歳に到達し、又は到達する見込みの方で「老人の日」にご存命の方です。

百歳以上の高齢者の人数は老人福祉法が制定された昭和38年には全国で153人で

でしたが今年(令和6年9月1日現在)は95,119人だそうです。

(以上、厚労省HPより抜粋)

養護老人ホーム緑の園では山村英子様、特別養護老人ホーム丸瀬布ヒルトップハイツでは桑折テル子様が今年度百歳になられますので百歳高齢者表彰を受けられました。

※文中の「老人の日」は老人福祉法(昭和38年制定)により「国民の間に広く老人の福祉についての関心と理解を深めるとともに老人に対し自らの生活の向上に努める意欲を促す」ため、9月



15日を「老人の日」と定めています。

一方「敬老の日」は国民の祝日に関する法律で、「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し

長寿を祝う」日として昭和41年に制定され、平成15年に移動祝日として9月の第3月曜日になりました。

と、いうことで早いとこ65歳になって皆さんから敬愛されたいと個人的には常々思っています。(おばら)



**心温まるご寄付ありがとうございました
 ございます。**

先月当法人の運営する遠軽町丸瀬布ヒルトップハイツ 居宅介護支援事業所並びに丸瀬布デイサービスセンターそれぞれにご寄付を賜りましたのでたのびご紹介いたしますとともに心からお礼申し上げます。

ありがとうございました。

遠軽町豊里
 佐藤千沙子 様



先月の出来事を紹介いたします。

先月は「敬老の日」の記念行事といたしまして、ヒルトップハイツでは11日、グリーンプラザでは18日にそれぞれの施設で1時間程度でしたが敬老の



お祝いとレクリエーションで楽しみました。

デイサービスでは16日から21日にかけてコスモスを観賞してまいりました。

今年のコスモスもいつもの年と同じようにきれいな花を咲かせていて、参加した方々は口々に「きれいだあ」と感想を漏らしておりました。

また、緑の園ではお楽しみ会を25日に開催いたしました。

お楽しみ会では丸瀬布の前川さんにお越しいただき手品をご披露いただきました。

時間にして1時間弱でしたがとても盛り上がり楽しい時間をすごすことができました。(手品おもしろかったです)

最後になりますが、先月の27日(金)に法人の各施設合同の職員研修を実施いたしました。

今回の研修は「高齢者の口腔衛生管理」についてを演題に札幌の松田整形外科記念病院 歯科口腔外科 医長 秋月一城先生、歯科衛生士 吉田直子様にお越しいただきお年寄りの口腔



衛生についての注意点であったり普段から思っている疑問点についてわかりやすく丁寧にご教示いただきました。

これからの口腔衛生の方法についてとても参考になる研修となりました。

秋月先生と吉田様には遠く丸瀬布までお越しいただき誠にありがとうございました。

とても勉強になりました。



今月もどうぞよろしくお願ひいたします。

今月はヒルトップハイツ、デイサービスセンターそしてグリーンプラザ、緑の園それぞれの施設で「紅葉狩り」に行く予定となっております。(デイサービスは白滝方面だそうです)

私は以前デイサービスに勤務していた時、「今日は天気がいいので東藻琴のチーズ工場へ行ってみましょう…。」って行ったらおやすみだったり、「今日は暑いので小清水原生花園に行ってみましょう…。」って行ったけど小清水だって暑くて涼むというほどでもなかったり、計画性に乏しかった行事も結構

ありましたがお年寄り目線ではあまり思いつかないようなことをやってたので、「いろんなと連れてって来て楽しい」なんていわれたら「次はどこへ行くか」と考えちゃってました。



今ではできないことが多くなっていて残念ですが当時はとても楽しかったです。

これはダメだった企画では「パチンコに行こう」がありました。



何のことはない、パチンコ屋さんに行ってパチンコをしてみましょうというものでしたが、パチンコ屋さんにもお願いをして準備万端さあ行こうとなったら参加者は2人だけ、さらには「パチンコって思ったよりつまらないね」とダメ出しまでされちゃいました。

なので、この企画はそのあと二度と復活することはありませんでした。(これは私の特養時代の暗い過去…。)

また、7日(月)には遠軽町民生委員児童協議会 遠軽支部 高齢者生活部会の方々が来園され施設を紹介する予定となっております。18日にはグリーンプラザ/緑の園に幼年消防クラブの園児さんの慰問があります。

緑の園では16日(水)午後から衣料販売、そして日程はまだ未定ではありますが、木暮商店様にご協力をいただき施設内での販売会を実施する予定としております。



それでは、おなじみの会議ネタを一つ。

私達にはそれぞれに大切な人がいます。

その大切な人を思いやることこそ人権の尊重の礎であり、何より

グリーンプラザ/緑の園の介護理念「笑顔のために気持ちを一つに」を目標としたサービスを提供することがみんなにとっての幸せで、私たちの介護業務の成果となります。

言葉遣いを例にとって考えてみると、利用者Aさんへの私達の言葉がけは「笑顔を生み出す」ものになっているのかどうかを常に心掛けなければなりません。

Aさんがグリーンプラザ/緑の園で幸せに生活していくうえでその言葉遣いや言い方は本当に必要なものであるのかどうか。

私たちも含めて人間って接し方によって信頼される度合いが随分と違ってきます。

言葉そのものが凶器になってしまうことにもなるので十分気をつけなければなりませんよね。と、いったことをお話ししました。でわ、今月もどうぞよろしくです。おばら